

平成23年政事業レビューシート

(環境省)

<b>事業名</b>	地域におけるヒートアイランド対策の推進		<b>担当部局</b>	水・大気環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成18年度～		<b>担当課室</b>	大気生活環境室 地下水・地盤環境室		室長 大村 卓 室長 宇仁菅 伸介		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	3-2 大気生活環境の保全				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	工業用水法 建築物用地下水の採取の規制に関する法律		<b>関係する計 画、通知等</b>	ヒートアイランド対策大綱(ヒートアイランド対策関係省庁連絡会議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	大都市のモデル地区における水・緑・風等を活用したヒートアイランド対策の大気・地盤に対する総合的な効果検証を行い、モニタリング・評価手法の確立を目指す。また、ヒートアイランド対策の効果測定を通じてデータを収集し、効果予測や地下水保全等の基礎データとして蓄積を図り、国、地方公共団体や民間事業者等の各種ヒートアイランド対策の効率的な推進を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	<p>1. ①東京都臨海部周辺においてシミュレーションを行い、人工島の大規模緑地が都内に及ぼす影響等について把握を行った。 ②横浜市内において上空を含めた風の流れと温度変化を解析することで、熱移流に関する都市環境気候図を作成した。 ③福岡市の都心部における人工排熱の実態を把握するとともに、シミュレーションにより大気加熱の構造を把握を行った。</p> <p>2. 地中熱を利用したヒートアイランド対策に関する実証事業を行い、その効果及び地下水・地盤環境へ与える影響を測定し、長期間利用した場合の地下水・地盤環境に対する影響のシミュレーションを行った。また、平成23年度において、平成18年度から22年度までの実証事業の結果を踏まえ、地中熱の適切な利用と良好な地下水・地盤環境の保全のためのガイドライン(案)を作成する。</p> <p>3. 地球温暖化対策として普及が期待されているヒートポンプ式給湯器やコージェネレーションシステムなどの高効率給湯器や太陽光発電等の住宅設備機器について、ヒートアイランド対策としての効果を把握するための評価手法を検討した。</p>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	90	86	85	54	46	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	90	86	85	54	46	
	執行額	91	77	76				
	執行率(%)	101.1%	89.5%	89.4%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	調査検討事業であり、数値で定量的に示せない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査検討事業であり、数値で定量的に示せない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
						( )	( )	
<b>単位当たり コスト</b>	-		算出根拠	-				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	37	31	継続して行っている事業であり、作業の効率化を図り減額。				
	環境保全調査等地方 公共団体委託費	17	15					
計	54	46						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>1. 受託者の提出する委託業務精算報告書に基づき費目、使途の確認を適正に行っている。</p> <p>2. 業務請負者が有識者による外部検討会を設置し、環境省担当官も出席した検討会を開催・運営を行った。実証事業については、ガイドライン作成に資するデータとなるよう、事業内容を限定した上で公募を行い、更に事業の実施状況を環境省担当官が現地に出向き、適切に実施されているかを確認し、データとして過不足なく効果的に実施できた。</p> <p>3. 有識者による検討会を開催し、検討会での助言を踏まえ、技術的検討を行った。また、検討会前には環境省担当官と十分な打合せを行った。</p> <p>ヒートアイランド対策については、政府としても引き続き推進する必要がある、とりわけ東日本大震災の対応として、中長期的なエネルギー需給の変化に応じたヒートアイランド対策、熱中症対策を新たに講じる必要がある。</p> <p>今後はこのような新しい視点を踏まえ、地方公共団体や民間企業等において、各種対策が積極的・効率的に進められるよう、全国の都市において汎用可能な地域ビジョン策定マニュアルを構築するなどして、より効率的・効果的に対策が導入されるための調査を進めていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	継続して行っている事業であり、事業の効果、展望等について今一度の精査の上、要求額を削減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
継続して行っている事業であり、作業の効率化を図り要求額を減らした。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

環境省  
76百万

・業務内容の決定  
・業務実施者との契約

【随意契約・委託】

A.東京都 5百万円

・東京臨海部周辺におけるシミュレーション計算の実施

【随意契約】

I.財東京都環境整備公社 5百万円

・機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュレーション計算

【随意契約・委託】

B.横浜市 5百万円

・横浜市内において海風及び斜面から吹く風及び都市内緑

【指名競争入札】

J.財日本気象協会 5百万円

・機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュレーション計算

【随意契約・委託】

C.福岡市 5百万円

・福岡市の都心部における人工排熱の実態を把握

【随意契約】

K.財九州環境管理協会 5百万円

・機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュレーション計算

【随意契約】

D.株式会社日伸テクノ 22百万円

平成22年度大規模の垂直型地中熱交換器群を持つ地中熱ヒートポンプ冷暖房システムにおける地盤温度環境変化の評価業務

【随意契約】

E.ジオシステム株式会社 23百万円

平成22年度地中熱利用ヒートポンプシステム過負荷運転実証事業

【一般競争入札】

F.株式会社日本能率協会総合研究所 6百万円

平成22年度地下水等活用型・地中熱利用型ヒートアイランド対策評価

【総合評価入札】

G.社団法人環境情報科センター 9百万円

平成22年度住宅設備等における対策効果の評価手法検討

【少額・随意契約】

H.NPO法人 地中熱利用促進協会 1百万円

平成22年度地中熱等活用施設の設置状況及び施工状況調査業務

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.東京都			G.社団法人環境情報センター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	財東京都環境整備公社 大都市中枢街区における総合的な ヒートアイランド対策による熱環境推 進事業委託業務	5	雑役務費	平成22年度住宅設備等における対策効果の 評価手法検討業務	9
諸謝金	委員謝礼金	0			
印刷製本費	報告書印刷費	0			
計		5	計		9
B.横浜市			H.NPO法人 地中熱利用促進協会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	(財)日本気象協会 大都市中枢街区における総合的な ヒートアイランド対策による熱環境推 進事業委託業務	5	雑役務費	平成22年度地中熱等活用施設の設置状況及 び施工状況調査業務	1
諸謝金	委員謝礼金	0			
印刷製本費	報告書印刷費	0			
車借り上げ費	委員交通費	0			
計		5	計		1
C.福岡市			I.財東京都環境整備公社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	財九州環境管理協会 大都市中枢街区における総合的な ヒートアイランド対策による熱環境推 進事業委託業務	5	雑役務費	機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュ レーション計算	5
諸謝金	委員謝礼金	0			
印刷製本費	報告書印刷費	0			
計		5	計		5
D.株式会社日伸テクノ			J.財日本気象協会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度大規模の垂直型地中熱 交換器群を持つ地中熱ヒートポンプ冷 暖房システムにおける地盤温度環境 変化の評価業務	22	雑役務費	機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュ レーション計算	5
計		22	計		5
E.ジオシステム株式会社			K.財九州環境管理協会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度地中熱利用ヒートポンプ システム過負荷運転実証事業	23	雑役務費	機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュ レーション計算	5
計		23	計		5
F.株式会社日本能率協会総合研究所			L.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	平成22年度地下水等活用型・地中熱 利用型ヒートアイランド対策評価業務	6			
計		6	計		

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目  
 と使途の双方で  
 実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	平成22年度大都市中枢街区における総合的なヒートアイランド対策による熱環境推進事業委託業務(東京都)	5	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横浜市	平成22年度大都市中枢街区における総合的なヒートアイランド対策による熱環境推進事業委託業務(横浜市)	5	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡市	平成22年度大都市中枢街区における総合的なヒートアイランド対策による熱環境推進事業委託業務(福岡市)	5	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日伸テクノ	平成22年度大規模の垂直型地中熱交換器群を持つ地中熱ヒートポンプ冷暖房システムにおける地盤温度環境変化の評価業務	22	1	97.2

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ジオシステム株式会社	平成22年度地中熱利用ヒートポンプシステム過負荷運転実証事業	23	1	98.4

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日本能率協会総合研究所	平成22年度地下水等活用型・地中熱利用型ヒートアイランド対策評価業務	6	4	58.3

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人環境情報科センター	平成22年度住宅設備等における対策効果の評価手法検討業務	9	1	63.0

H

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人地中熱利用促進協会	平成22年度地中熱等活用施設の設置状況及び施工状況調査業務	1	随意契約	-

I

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財東京都環境整備公社	機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュレーション計算	5	1	98.0

J

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財日本気象協会	機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュレーション計算	5	4	88.5

K

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財九州環境管理協会	機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュレーション計算	5	1	89.7